

2021年度（令和3年度）

事業計画書



公益財団法人

苫小牧市スポーツ協会

2021年度（令和3年度）事業方針

～オリンピック・ムーブメントへの参画～

I O Cは2020年3月24日に新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的なパンデミックにより、2020年の東京オリンピック開催を断念しました。その後2021年7月23日に開幕するスケジュールを発表し現在に至るまで開催に向けた準備を進めております。日本卓球協会は東京オリンピック卓球日本代表候補選手として、苫小牧市出身の丹羽孝希（スヴェンソン）を選考しております。苫小牧市は2016年リオデジャネイロオリンピック同様に、丹羽孝希選手を市民で応援するパブリックビューイングを計画しており、当協会としても参画する方針であります。また、それに伴う2020年東京オリンピック聖火リレーが、6月14日（月）に北海道苫小牧市をスタートし富良野市へリレーされることが発表されております。こちらについても当協会が参画していくことで、苫小牧市におけるオリンピック・ムーブメントを高めることに寄与できるものと考えます。

～安心で安全な施設管理を目指して～

当協会が指定管理を受託している「白鳥王子アイスアリーナ」及び「ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ」は第4期指定管理期間の3年目を迎えます。この間、白鳥王子アイスアリーナをホームリンクとして使用してきた王子イーグルスは、2021年4月からクラブチーム「レッドイーグルス北海道」として新運営会社を設立し、再出発することを発表しております。チームの方針として、引き続き苫小牧市に拠点を置いた地域密着型の活動を行い、競技人口増加や人気の復活を目指していくことを表明していることから、当協会としてもアイスホッケーによる街のにぎわいが復活できるよう、引き続きの連携が必要であると考えます。

～アフターコロナの事業展開～

2020年度は新型コロナウイルス感染症による影響が各種事業に及んでおります。2021年度はアフターコロナを念頭におきながら各種事業を見直し、苫小牧市民がスポーツをする・観る・支える環境を提供するとともに、加盟団体における競技人口の拡充や、指導者及び競技役員育成などの諸課題を共に解決していく体制づくりを図ります。

～活動目的の実現とスポーツ行政の担い手として～

当協会の活動目的である「苫小牧市におけるスポーツの普及振興のために必要な事業を行うとともに、苫小牧市の設置する体育施設の管理運営に関する事業を行い、もって市民の健康・体力の増進と広く北海道におけるスポーツの振興に寄与する」とした活動目的の実現に向けて邁進するとともに、「苫小牧市スポーツ推進計画」が定める基本理念「活みなぎる「スポーツ都市」とまこまい」の実現を目指します。

2021年度（令和3年度）事業計画

1. 公益目的事業

公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業

本事業は、苫小牧市・苫小牧市スポーツ協会・競技団体が事業を主催し、スポーツに関する多様な事業を企画・実施することにより、地域のスポーツの普及振興を図り、広く市民にスポーツへの参加機会を提供する。

※事業名（実施時期／参加見込）

ア. スポーツ大会等開催事業（定款第4条第1号事業）事業費 9,169,000 円

市民スポーツ祭など各種大会を実施し、中高生から一般まで幅広い年齢層を対象に体力の向上、競技力の向上を目的とした事業を開催する

①市民スポーツフェスティバル

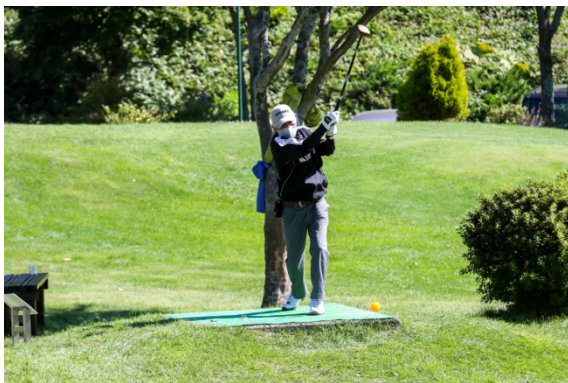
- 第19回市民フロアカーリング大会（7月／50名）
- 第34回市民ミニバレーボール大会（7月／40名）
- 第5回苫小牧市民パークゴルフ交流大会（未定／200名）
- 第53回市民バドミントン大会（9月／200名）
- 第53回市民卓球大会（10月／470名）
- 第20回市民スポンジテニス大会（10月／50名）
- 第39回市民ソフトテニス大会（未定／380名）
- 第38回とまこまいマラソン大会（9月／1,070名）
- とまこまいスポーツフェス（10月／1,000名）

②共催事業

- JFAフットボールデー2021北海道 in 苫小牧（未定／180名）
- 第44回苫小牧市民ラグビー祭（未定／120名）
- 第48回苫小牧地区弓道選手権大会（9月／110名）
- 第46回苫小牧バレーボールまつり（9月～12月／640名）

③スポーツ大会開催事業

- 大鷲旗争奪第58回苫小牧朝野球大会（未定／950名）
- 第20回 Jrアイスホッケーチャレンジカップ（12月／100名）



イ. スポーツ教室・講習会開催事業（定款第4条第1号事業）事業費 6,639,000 円

幼児、児童、親子、一般、女子、高齢者など対象別に各種スポーツ教室、講習会を開催し、スポーツに関する学習の機会やスポーツへの動機づけ、基礎技術の習得、体力づくり、健康の維持増進の場を提供する。

①スポーツ教室・講習会

運動会目前!!キッズかけっこ教室（5月／160名）

テニス教室 初級・中級（6月／90名）

基礎から学ぶはじめての弓道教室(中学/一般)（5月～7月・9月～10月／200名）

アウトドアスポーツ体験教室（8月・1月／40名）

市民ソフトテニス教室（11月／60名）

小学生バドミントン教室（1月／390名）

TOMAKOMAI チャレンジスポーツクラブ（3月／150名）



②共催事業

市民アーチェリー教室（5月／10名）

③氷上スポーツ育成事業

スケートエンジョイスクール（10月～1月／4,840名）

スピードスケート体験教室（10月～2月／270名）

展示室整備事業（通年）

広告フェンス取り付け事業（4月～6月）



公 1 - 2 スポーツ普及のための指導者養成及び、競技力向上等事業

本事業は、各種スポーツ団体の指導員、又は今後指導員を目指す方を対象とし、各種スポーツ場面において適切な指導を行うことが出来るよう、スポーツ指導者の資質向上を目的とした各種指導者養成講習会や研修会等を実施する。また競技力向上のための各種スポーツ講演会等の開催、競技団体活動助成を行う。

ア．指導者養成等に関する事業（定款第 4 条第 2 号事業）事業費 277,000 円

① T S P O スポーツ人材バンク（仮称）（通年）

指導者の発掘及び登録事業を実施するとともにスポーツ指導者を必要とする個人や団体に対し、登録指導者を紹介する。またスポーツイベントに欠かせない要素となってきたボランティアや専門的なスキルをもったプロボノの発掘及び登録事業を実施し、ボランティアを必要とするスポーツイベント等に対し、登録者を紹介する。



イ．競技力育成強化等に関する事業（定款第 4 条第 3 号事業）事業費 1,455,000 円

① 加盟団体強化事業（通年）

加盟団体の競技力向上や普及を目的として、別に定める助成金要綱により、年に 1 回活動助成金の支給を行うとともに、全道・全国大会を誘致した加盟団体に対し、別に定める助成金要綱に基づき、大会助成金を支給する。

② 講演会等開催事業（未定／30 名）

競技力育成強化を目的とした講習会等を開催し、スポーツ活動に役立つ知識や最新の情報を、広く指導者・選手・一般愛好家に対し啓蒙していく。

公 1 - 3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業

各地で開催される全国・全道大会に参加する際に遠征費の一部助成を行う。市内のスポーツ愛好者にスポーツに親しみ地域間でスポーツ交流できる機会を提供する。スポーツによる青少年の健全育成を目的とした各種事業を企画・実施しスポーツ少年団の育成を図る。苫小牧市内において特に顕著な功績のあった者を表彰する。

ア. スポーツ大会参加奨励に関する事業（定款第 4 条第 4 号事業）事業費 1,000,000 円

①全道・全国大会参加助成事業（通年）

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、全道・全国・国際大会に出場するスポーツ少年団・小学生・中学生・高校生・大学生・一般に遠征費の助成を行う。

イ. スポーツ少年団育成事業（定款第 4 条第 5 号事業）事業費 1,998,000 円

①大会開催事業

各種競技の大会を開催する事でスポーツに親しむ機会を提供し、競技力の向上と青少年の健全育成を図る。

第 4 6 回市長旗争奪少年野球大会（5 月／2 7 0 名）

第 1 8 回本部長フットボールフェスティバル（7 月／2 4 0 名）

第 4 8 回スポーツ少年団剣道交流会（1 0 月／1 2 0 名）

第 5 2 回交歓大会兼第 29 回高沢杯争奪大会（9 月／2 7 0 名）

教育長杯争奪第 3 4 回フットサル冬季交歓会（1 月／1 8 0 名）



②少年団リーダー・指導者養成事業

各種研修会、交流会にスポーツ少年団指導者及び団員を派遣し、指導者の育成、リーダーの育成を図る。

北海道スポーツ少年大会（未定）

北海道スポーツ少年団リーダー研修会（未定）

胆振管内スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（未定／1 0 4 名）

北海道スポーツ少年団指導者研究大会（未定）

スポーツリーダー兼少年団認定員養成講習会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団指導者母集団研修会（3 月／4 0 名）

ウ. スポーツ功績者表彰に関する事業（定款第4条第6号事業）事業費 886,000 円

①スポーツ功績者表彰事業

苫小牧市のスポーツ普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「特別賞」「功労賞」「優秀賞」「奨励賞」「感謝状」を贈呈する。

②スポーツ少年団表彰事業

苫小牧市スポーツ少年団の普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「育成功労賞」「スポーツ奨励賞」を贈呈する。



公1-4 スポーツ（スケート競技）振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業

氷都苫小牧のスケート競技人口拡大のための普及事業や、競技力向上のための事業を開催、及び競技団体の事業を支援。指定管理者としてスケート競技の拠点施設である白鳥王子アイスアリーナや、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの管理運営を行う事により、施設を活用した様々な教室やイベントを開催する事が出来る。

ア. 白鳥王子アイスアリーナ自主事業に関する事業（定款第4条第7号事業）事業費 1,851,000 円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「白鳥王子アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする。

白鳥王子アイスアリーナスポーツクラブ

スケート教室（9月コース）（9月／160名）

アイスホッケースキルアップスクール（5月～7月／880名）

大人のためのアイスホッケースクール（9月／100名）

ウォーキングセミナー（未定／30名）

ランニングセミナー（未定／30名）

カジュアルホッケー（7月～3月／730名）

七夕企画「スポーツ短冊で夢を叶えよう！！」（7月～8月）

クリスマスイベント（12月）

貸スケート・スケート研磨事業（通年）

使用料コンビニ決済事業（通年）

アイスホッケーデー（未定）

白鳥王子アイスアリーナ感謝祭（未定）

全国アイスリンク技術研究ミーティング（未定）

文化交流事業（絵画・塗り絵・書き初め・写真展示会など）（未定）



イ. ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業

（定款第4条第7号事業）事業費 682,000 円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする。

ダイナックス沼ノ端アイスアリーナスポーツクラブ

10月スケートスクール（10月／40名）

11月スケートスクール（11月／80名）

12月スケートスクール（12月／80名）

1月スケートスクール（1月／80名）

DYNAX アイスホッケースクール（未定／80名）

パラアイスホッケー体験会（未定／20名）

カーリング体験会（未定／20名）

カジュアルホッケー（6月～3月／1,130名）

七夕企画「スポーツ短冊で夢を叶えよう！！」（7月～8月）

貸スケート・スケート研磨事業（通年）

使用料コンビニ決済事業（通年）

スキルチャレンジ（未定／90名）

クリスマスイベント（12月）



ウ. 施設の貸出しに関する事業（定款第4条第7号事業）事業費 229,825,000 円

白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの設置目的を踏まえ、各種競技大会、専用利用、研修会、レクリエーション、個人のトレーニング利用などに、アリーナ、会議室、トレーニング室の貸し出しを行う。施設の維持管理にあたっては「体育施設管理士」「体育施設運営士」の両資格を有する「上級体育施設管理士」が8名おり、利用者の安全な施設利用のため万全を期している。貸出方法は、苫小牧市白鳥アリーナ条例及び規則、苫小牧市スポーツセンター条例及び規則、運用内規などに基づき利用の受付、貸出、利用料金の徴収を行う。また、利用状況、利用の方法などについてはホームページで公表している。

①白鳥王子アイスアリーナ管理運営事業

一般滑走（7月～3月／2, 200名）

トレーニング室（通年／15, 000名）

リンク専用貸切（7月～3月／95, 000名）

会議室専用貸切（通年／3, 300名）

その他（自主事業等）（通年／7, 000名）



②ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ管理運営事業

一般滑走（6月～3月／7, 800名）

リンク専用貸切（6月～3月／61, 700名）

その他（自主事業等）（6月～3月／1, 600名）



2. 収益事業

物品販売等事業

本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業で、白鳥アリーナで開催されるアジアリーグのチケット販売、グッズの販売、大会写真販売など利用者サービスの一環として収益を得ることを目的とした事業を行う。

ア. 物販等事業（定款第4条第8号事業）事業費 55,000 円

各種興行チケット販売

写真販売事業

グッズ委託販売事業



イ. その他事業

北海道盲導犬募金箱設置事業

市内企業と共同による白鳥王子アイスアリーナ花壇整備事業

2021年度（令和3年度）

収 支 予 算 書



公益財団法人

苫小牧市スポーツ協会

令和3年度 公益財団法人苫小牧市スポーツ協会収支予算書
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

単位 : 円

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
I 収入の部				
1. 基本財産運用益	15,000	15,000	0	
基本財産運用収入	15,000	15,000	0	基本財産定期預金利息
2. 事業収入	14,647,000	16,327,000	△ 1,680,000	
(1) スポーツ大会開催事業収入	9,252,000	9,598,000	△ 346,000	市民登山会・水遊び教室 事業廃止に伴う参加料収入の減
(2) スポーツリーダーバンク収入	80,000	80,000	0	
(3) スポーツ少年団事業収入	70,000	70,000	0	
(4) 自主事業収入	5,245,000	6,579,000	△ 1,334,000	白鳥 自主事業内容見直しに伴う参加料収入の減
3. 利用料金収入	50,730,000	50,730,000	0	
(1) 白鳥王子アイスアリーナ利用料金収入	30,636,000	30,636,000	0	一般・専用利用収入
(2) ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ利用料金収入	20,094,000	20,094,000	0	一般・専用利用収入
4. 受託事業収入	178,495,000	189,202,000	△ 10,707,000	
(1) 受託事業収入	178,495,000	189,202,000	△ 10,707,000	
白鳥王子アイスアリーナ指定管理費	134,194,000	141,805,000	△ 7,611,000	燃料費(市積算)・電気料(市入札)に伴う減
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ指定管理費	44,301,000	47,397,000	△ 3,096,000	燃料費(市積算)・電気料(市入札)に伴う減
5. 補助金収入	44,966,000	43,590,000	1,376,000	
(1) 苫小牧市	44,966,000	43,590,000	1,376,000	
スポーツ協会補助	42,776,000	41,400,000	1,376,000	
運営費補助	35,679,000	34,303,000	1,376,000	定期昇給及び管理職昇格による人件費の増
事業費補助	4,648,000	4,648,000	0	
加盟団体補助	1,400,000	1,400,000	0	
スポーツ少年団補助	1,049,000	1,049,000	0	
氷上スポーツ育成事業補助	2,190,000	2,190,000	0	
スケートエンジョイスクール事業	1,241,000	1,241,000	0	
スピードスケート振興事業	300,000	300,000	0	
展示室整備事業	31,000	31,000	0	
広告フェンス取付事業	618,000	618,000	0	
(2) 北海道	0	0	0	
6. 寄附金収入	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 寄付金収入	1,300,000	1,300,000	0	スポーツ事業資金造成協賛会他寄附金
7. 登録料収入	1,081,000	1,081,000	0	
(1) スポーツ少年団登録料	1,081,000	1,081,000	0	スポーツ少年団登録料
8. 負担金収入	300,000	300,000	0	
(1) 加盟団体負担金収入	300,000	300,000	0	加盟団体(35団体)負担金
9. 雑収入	850,000	1,000,000	△ 150,000	
(1) 受取利息収入・グッズ収入等	850,000	1,000,000	△ 150,000	チケット販売収入の減
10. 基本財産収入	0	0	0	
(1) 基本財産収入	0	0	0	
11. 記念事業積立準備金繰入収入	0	0	0	
(1) 記念事業積立準備金	0	0	0	
12. 特定預金取崩収入	687,000	715,000	△ 28,000	
(1) 特定預金取崩収入	687,000	715,000	△ 28,000	退職金支払いに伴う繰入金(嘱託技術員3名)
当期収入合計 (A)	293,071,000	304,260,000	△ 11,189,000	
前期繰越収支差額	1,285,000	1,093,000	192,000	
収 入 合 計 (B)	294,356,000	305,353,000	△ 10,997,000	

単位：円

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
Ⅱ 支出の部				
1. 公益目的事業	253,782,000	266,127,000	△ 12,345,000	
公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業				
	15,808,000	16,154,000	△ 346,000	
ア スポーツ大会開催事業	9,169,000	9,334,000	△ 165,000	スプリングチャレンジリーグ・市民登山会 事業廃止に伴う経費の減
イ スポーツ教室・講習会開催事業	6,639,000	6,820,000	△ 181,000	水遊び教室 事業廃止に伴う経費の減
公1-2 スポーツ普及のための指導者養成及び、競技力向上等事業				
	1,732,000	1,732,000	0	
ア 指導者養成等に関する事業	277,000	277,000	0	スポーツリーダーバンク
イ 競技力育成強化等に関する事業	1,455,000	1,455,000	0	加盟団体負担金・講演会開催
公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業				
	3,884,000	3,954,000	△ 70,000	
ア スポーツ大会参加奨励に関する事業	1,000,000	1,000,000	0	全道全国大会 遠征費助成金
イ スポーツ少年団育成事業	1,998,000	2,068,000	△ 70,000	リーダー交流会バス使用料の減
ウ スポーツ功績者表彰に関する事業	886,000	886,000	0	スポーツ表彰
公1-4 スポーツ(スケート競技)振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業				
	232,358,000	244,287,000	△ 11,929,000	
ア 白鳥王子アイスアリーナ自主事業に関する事業	1,851,000	3,004,000	△ 1,153,000	事業内容見直しに伴う経費の減
イ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業	682,000	751,000	△ 69,000	事業内容見直しに伴う経費の減
ウ 施設の貸出に関する事業	229,825,000	240,532,000	△ 10,707,000	
白鳥王子アイスアリーナ管理運営事業	165,330,000	172,941,000	△ 7,611,000	燃料費(市積算)・電気料(市入札)に伴う減
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ管理運営事業	64,495,000	67,591,000	△ 3,096,000	燃料費(市積算)・電気料(市入札)に伴う減
2. 収益事業	55,000	55,000	0	
物販等事業	55,000	55,000	0	グッズ販売委託
3. 法人会計	38,230,000	36,894,000	1,336,000	
ア 管理費	38,230,000	36,894,000	1,336,000	
人件費	35,326,000	33,990,000	1,336,000	定期昇給及び管理職昇格による人件費の増
物件費	2,904,000	2,904,000	0	法人運営に係る物件費
4. 固定資産取得支出	0	0	0	
ア 固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
5. 特定預金支出	1,302,000	1,262,000	40,000	
ア 特定預金支出	1,302,000	1,262,000	40,000	
特定預金支出	1,302,000	1,262,000	40,000	退職積立金(法人会計職員3人昇級・1名昇格分増) ※他職員分は白鳥と沼ノ端の管理運営費より支出
6. 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
ア 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
7. 退職金支出	687,000	715,000	△ 28,000	
ア 退職金支出	687,000	715,000	△ 28,000	
退職金支出	687,000	715,000	△ 28,000	退職金支出 (嘱託技術員3名)
当期支出合計 (C)	294,356,000	305,353,000	△ 10,997,000	
当期収支差額 (A)－(C)	△ 1,285,000	△ 1,093,000	192,000	
次期繰越収支差額(B)－(C)	0	0	0	